

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	麻生プレーパークを創る会
-----	--------------

取組の名称	あさおプレーパーク 2025
実施場所	万福寺さとやま公園、 万福寺檜山公園、 麻生区市民健康の森（多摩美の森）、 黒川青少年野外活動センター
対象地域	川崎市麻生区及び周辺地域
対象地域の特色・課題	自然豊かな公園が多くあり緑地保全活動が盛んな一方で担い手の高齢化と減少が課題。共働き世代や核家族が多く子どもたちは塾や習い事に時間を費やし限られた時間で忙しく遊んでいる。外で遊ぶ体験(時間)は増々減少し、さとやま等の自然豊かな公園が十分に活用されていない現状がある。
取組の趣旨・目的	さとやま公園の利活用を兼ねて自然の中で遊ぶ機会を創出する。小中学生、乳幼児親子、地域住民など多様な人たちが集う場を目指しプレーパークを開催する。『自分の責任で自由に遊ぶ』を基本とし自主的で能動的な遊び場を目指す。子ども時代の豊かな遊び体験は、子どもの脳の実行機能の育成に重要である。加えて自然の中で遊んだ経験が、緑地保全活動の担い手育成に繋がる。
実施内容・実施スケジュール	①市民健康の森(多摩美の森) 4/19・6/21(土)全2回 10:30~16:00 炊出し、木工作、遊具作り、青空創ろう会 ②万福寺さとやま公園 5/3、17・6/7・7/5、19・9/6、20(土)全7回 10:30~16:00(※7、9月17:00) 木工作、遊具作り、青空創ろう会 ③万福寺檜山公園 月2回 水曜日 全15回 11:00~15:00 青空創ろう会、絵本の読み聞かせ、ランチ会 ④黒川青少年野外活動センター 年2回 水曜日 全2回 10:00~16:00 炊出し、ランチ会、青空創ろう会

参加者の年代	0～18歳	定員 (1回あたり)	20～50名
実施頻度	月4回	活動日数 (年間)	26日
スタッフ体制	①②プレーワーカー2名、ボランティア1名、運営スタッフ1名 ③ボランティア2名、運営スタッフ1名 ④ボランティア3名、運営スタッフ1名		
連携する団体・ 連携の手法	○檜山公園愛護会、新百合山手運営協議会、麻生多摩美の森の会と連携し公園利用許可申請 ○自主保育こめっこ OB 会と連携しボランティアスタッフとして協力を得る ○不登校児童を抱える保護者と繋がりインスタグラムを活用した広報をする ○各子ども関連施設と連携し、チラシ配布(各小中学校、幼稚園、保育園、子ども文化センター、麻生区子育て支援室他) ○マイタウン麻生ほか、地域メディアに取材依頼し広報に努める		
取組実施により 見込まれた効果	①②(万福寺さとやま公園・多摩美の森:土曜日2回の定期開催)プレーパーク→ 近隣小学校家庭数で配布した広報チラシをきっかけに近隣小学生が遊びに来た。始めは友だちと来た子が、次からは一人で来たり、また別の友だちと来たり。プレーパークは学校や学年を問わずに知り合い遊べる場である利点が活きていると感じた。子ども同士が気軽に名乗り合い学年の上下関係なく呼び捨てし合う、互いに遊びを提案し合いながら新たなルールを決めて遊ぶ、そこには未就学児も加えて遊ぶ柔軟性があった。嬉しそうに見守る未就学児童の保護者たちの様子が印象深い。 SNS を活用した広報は子育て世代の保護者に有効。未就学児連れの親子も毎回多く遊びに来た。木工作や屋外での遊びには父親の出番が多くお父さんたちが活躍していた。性別や年齢、立場の違いを越えた関係性の中でみんなが話し、遊び、力を貸し合う様子は新たな居場所作りになっていると実感出来た。季節毎に変化する自然の中で遊ぶことで子どもたちが主体的に落ち葉集めや草刈りをする日もあった。それは遊びのように自由に始まり自由に終わり、また次の遊びが始まった。雨でも雪でも遊ぶ子どもたちの姿には、自然豊かな外遊びでこそ育まれる力があると強く感じた。		

③(万福寺檜山公園:水曜日 2 回定期開催)プレーパーク→

子育て関連施設・近隣幼稚園・保育園へのチラシ配布、SNS を活用した広報を行った。

未就学児、乳幼児連れの親子参加が多かった。また、新百合ヶ丘駅徒歩 5 分の立地から買い物帰りにふらりと立ち寄り遊んで行くといった出会いも多くあった。ランチ会を楽しみに来て、親同士食べながらおしゃべりが弾み親しくなって行く様子が微笑ましく自然と子どもたちも各々の遊びに熱中していた。

公園で長居して遊ぶ機会が、なかなか持てない年齢(0 歳～5 歳)の子どもたちが数時間じっくり外遊びをする機会作りになったと思う。

ここでの出会いから万福寺さとやま公園や多摩美の森プレーパークに繋がったり、子育ての悩みを話せるママ友だちになったり、新たな発展や可能性を実感した。

④(黒川野外活動センター:水曜日 2 回不定期開催)プレーパーク→

檜山公園プレーパークでは出来ないことをやろう！のコンセプトで 12 月「餅つき」、3 月「揚げたて天ぷら」をランチ会で実施。実施までにリピーターのママたちと話しをして巻き込むことを意識。当日は手伝いをする人と子どもをしっかり見る人との自然と手分けして互いの子どもを見合う様子に子育て仲間としての深まりを感じられた。しっかり食べてまた遊びに走り出す子どもたち。通常開催の檜山公園プレーパークでの時間が活きていると感じた。